



年10 月23日

符許庁長官

2.原実用新案存録出版の表示 実顧昭46-11887号

/キ キョウトセイサクショナイ 機株式会社 京都製作所内

4.特許出題人

郵便番号 100

東京都千代田区丸の内二丁目2番 称(601) 二菱氮盎株式会社

3

東京都千代田区丸の内二丁目 2番8号

三菱電磁株式会社內

8. 添付書類の日録

(1) 男 (2) 🖾

1 通(収更を長しないだめ省略) 1通(変更を要しないため省略)

任 솼 (4) 出頭等夜請求書

19 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 51 - 63866

昭51. (1976) 6 2 43公開日

②特願昭 fo-127624

昭46.(1971) 2.26 22出願日

審査請求

(全2頁)

庁内整理番号 フチノチ ゴフ

6P07 27 7124 27

52日本分類

2 f(t) C 0.1 2441A1. 25H1A3

61) Int. C12

BIPF B2PC BIPC

発明の名称 射出成形用金型の製造方法

2 特許請求の範囲・

射出成形用金型のコアー側の表面にエツチン グ加工により皮模様あるいけ、梨地模様などの 細かい凹凸を形成するようにしたことを特徴と する射出成形用金型の製造方法。

8、発明の詳細な説明

本発明はプラスチック樹脂等の射出成形を行 なうのに適した金型の製造方法に関するもので ある。

従来より射出成形用金型を設計、製作する場 合に成形時の脚形パタンスを完全に考慮する事 は困難であり、充分検討した積りでも、実際の **成形時には顔々条件が直なり、雕形がアンパラ** ンスになるという単はたびたびあつた。特に推 造の複雑な大型成形品についてはほとんどの場 合、第1回試圧成形の後、機械加工や手加工に より艦型パランスをとる為、コア側叉はキャピ

ティ側に加工を行なつているのが規状である。

本発明はこの離型バランスを試圧収形時、容 易に劇整できる射出成型用金型の製造方法を提 供するものであり、以下本発明の一実施例につ いて図面とともに説明する。

図において・11は射出成形された製品、121はこ の射出成形品の金型のコアー側、は1は同じくや マピティ側である。川は木発明によりコアー側 金型にエッチング加工により施とされた皮模様 あるいけ梨地模様で、細かく均一な凹凸となつ ている。例えば製品川を射出成形する場合、製 品山は均一にエッチング加工され摩擦力の大き いコアー側の化取り付き、この後突き出しピン ・6)によつて簡単にコアー側金型 21より取り出す 事ができる。

このように木発明によればコアー側表面に細 かく向ーな凹凸を簡単なエッチング加工によつ て形成するたけでキャピティ側への製品のくつ つきを防止し得る射出成形用金型を容易に得る ことができる。またコアー側に製品が取り付い

た場合でも、型品の形状によつて谷形分の金型 との単様力の違いにより、あるいは金型との厳 ・掛力が全体に大きすぎる為、突き出しピン町で 製品を突き出す際に製品が傾いて出たり、突き 出す駅の低抗が大きく、製品がうまく取り出せ ない場合が良くあるが、この様な場合本発生に よつて製造された金型であればコアー側のエツ チンク加工された要向を部分的、あるいは全体 に紙やすり等でみがき金型の脚譲力を小さくす! るととによつて做実に叫品を会型から取り出す 事ができる。果化、本条男によつて製造された 金型紅型品の形状が複雑になる性、七の必要性 と効果が大きく、州えばテレビジョン受像機の パツクカバーの様に製品の奥行きが非常に深く かつ抜き勾配の非常に小さい製品形状の時には 製品の意匠面に欠陥を及ぼさず完全な弊型パラ ンスをとることができる。

4. 図面の商単な説明

第1回は対出収形された製品の一例を示す斜根図、第2回は本発明の一実施例を説明するた

特開昭51-63866**②** めの金型の要部断面図である。

(X 中 22) は金型のコアー側、31 はキャビティ側、4) はコアー側金型 21 にエッチング加工によつて 形成した凹凸を示す。

代理人 萬野 僖 一

